東京大学総合図書館

東京大学総合図書館

明治九年一月ヨリ仝十年十二月マテ

御布告簿

第二百十四

東京大學

別紙及回達候也

明治九年一月廿八日

文部省

東京大學

東京帝國大學圖書印

B 95433

来ル三十日
孝明天皇御例祭ニ付奏任官之輩正午十二時
ヨリ午後二時迄ニ大禮服着用
神殿参拝可有之判任官ハ御場所狭少ニ付
参賀ニハ不及依テ此段御達ニ及ヒ候也
但参賀道筋皇居裏御門ヨリ入リ南ヘ廣芝行
當リ右ヘ小御門庭東御門入リ茅葺御門ヲ出
神殿参拝相済賢所南側北ヘ賢所裏御
門出右ヘ外庭西御門ヲ出通用御門ヲ出

九年一月二十七日

式部頭代理
式部助五辻安仲

院省使廳府県
各御中

追テ不参之節ハ別段届不及候也

第弐拾五号

院省使庁府県

特命全権辨理大臣黒田清隆朝鮮国政府ト
談判之末二月廿七日彼政府ト條約交換了結之
趣本日電報有之候此段為心得相達候事

明治九年三月二日

太政大臣三條実美

東京大學
東京大學

外國銀行發行證券ノ儀ニ付正院伺濟ノ上開港開市場有之府縣ヘ左之通相達候ニ付テハ御院省ニ於テモ同様御注意有之度爲御心得此段及御通知候也

但本文銀行證券トハ「バンクイトノ儀ニテ「チエツキ」即切手之類ニハ無之候事

明治九年三月三十一日

大藏卿大隈重信

元老院
大審院
外務外八省

東京大學

警視廳
各長官 御中

追而早々廻達後閲了返却有之度候也

従来諸開港場ニ於テ外国銀行発シ証券ヲ以テ通貨ト同様取引致来趣ニ候處我国内ニ於テ右証券発行之儀ハ固ヨリ我政府ノ許可セシモノニ無之且右銀行之義ハ我國ノ條例ヲ遵奉シ官ノ検査ヲ經ル者ニ無之故其証券ノ多寡身代之富否等モ探知シ難キニ付萬一破産閉店等ニ至ル時ハ売買上不測之損害ヲ免レンヿヲ慮リ自今以後ハ我政府発行之通用紙幣國立銀行之紙幣并ニ國立銀行之洋銀券及締盟各現貨幣ヲ以テ取引致様注意可致此旨相達候事

明治九年三月十四日

別紙本年第拾壹號布告海上衝突豫防規則ニ附属之繪圖面及廻申候也

但本文布告第弐條中ノ外國ハ外圍之誤ニ候条御取直有之度候也

明治九年二月廿二日　史官

院省使廳府縣
御中

別紙圖面略ス

東京大學

東京大学総合図書館

今般第四十九号ヲ以外務省職制并章程改定達
相成候処右ハ各国交際上関係ノ廉不少
自然新聞紙等ニ掲載候様ニテハ不都合ニ付
課ニ廳外ノ者ヘ漏泄不致様有之度此段申入
候也

明治九年五月十二日

史官

院省使廳

御中

東京大學

東京大学総合図書館

第七十九号

華頂三品宮廿四日午後第五時四十分薨去ニ付三日之間歌舞音曲等令停止候条此旨布告候事

但日数之儀ハ布告到達ノ日ヨリ算シ候事

明治九年五月廿五日

太政大臣三條実美

東京大學

東京大学総合図書館

院省使廳
東京府

來六月二日奥羽地方
御巡幸御發輦ニ付當日休暇差許候旨相達候事

明治九年五月二十二日

太政大臣三條實美

東京大學

第八十五号

三品薫子内親王昨八日薨去被遊候ニ付此旨
布告候事

但三日之間歌舞音曲等令停止候東京府
下ハ本日ヨリ其他ノ地方ハ到達ノ日ヨリ可算
事

明治九年六月九日

太政大臣三條実美

東京大学
東京大学総合図書館

第六十一号

院省使廳府縣

三品薫子内親王昨八日薨去被遊候ニ付東京ノ奏任官以上及華族之輩本日ヨリ三日之間為伺
天機宮内省エ参上可致旨相達候事

明治九年六月九日

太政大臣三條実美

東京大學

東京大学総合図書館

別紙官吏懲戒例之義ニ付テノ達書ハ新聞紙等ヘ掲載不致様ノ注意可有之候也

明治九年六月八日

史官

東京大學

東京大学総合図書館

院省使廳府縣

本年四月第三十四号達官吏懲戒例ノ儀ニ付
尚又左ノ通相達候事

明治九年六月八日　太政大臣三條実美

一准官吏並ニ等外吏ハ本例ニ照シテ處分シ傭
其他種々ノ名義ヲ以テ公事ニ関スル者ハ本属
長官ノ見込ヲ以テ適宜處分スヘシ

一官國幣社神官並ニ教導職ノ過失発見スル
時ハ所在地方官ヨリ其状ヲ具シテ教部省ヘ
届出ヘシ

東京大學

一府縣郷村社神官ハ地方長官ノ見込ヲ以テ適宜處分シ其免職ニ係ル者ハ處分ノ上教部省ヘ届出ヘシ

一巡査及ヒ學校其他諸工場等ニ於テ別ニ懲罰規則有之分ハ本例ノ限ニアラス

一民費ヲ以テ給俸ニ充ル者ノ罰俸ハ各其民費ニ割戻スヘシ

東京大學

第六十二号

院省使廳府縣

三品内親王薫子尊來十六日午前第八時御出棺御葬送ニ付在京ノ奏任官以上麝香間詰並有位華族共當日爲
天機伺宮内省ヘ可罷出此旨相達候事

明治九年六月十二日　太政大臣三條実美

東京大學

第七十一号

院省使廳東京府

正院中明十一日ヨリ來ル九月十日迄ヽ午前第八時出頭正午十二時退出ト被定候条為心得此旨相達候事

明治九年七月十日

太政大臣三條實美

東京大學

今般別紙之通府縣ヘ相達候ニ付而院省使廳局ニ於テモ同様可取計旨ニ候此段及御達候也

明治九年六月十九日

大藏卿大隈重信

院省使廳局

各御中

別紙ハ乙第五十二號ノ達ナリ

東京大學

東京大学総合図書館

乙第五十二号

府縣

諸向繰替取扱順序明治九年七月一日以降
左ノ通改定候条此旨相達候事

明治九年六月十九日

大藏卿大隈重信

一諸向繰替金國債寮ヨリ相渡候条受取証書
并返納証書共國債頭名宛ニ相認メ同寮ヘ
差出スヘシ

一諸向繰替金追算勘定牒大藏卿宛ニテ差出
来候處國債頭名宛ニ相認メ成規ノ通同
寮ヘ差出スヘシ

東京大學

一 明治九年六月三十一日迄ニ諸向繰替金トシテ
相渡ス金額七月一日ヘ越来決算高一旦証書
ヲ以返納ニ相立更ニ右証書ヲ以国債寮ヨリ
請取候儀ト相心得ヘシ
但本文証書ノ納受ハ本年七月十五日
限リ申出ヘシ

院省使庁東京府

来ル二十日 還幸ニ付休暇候条此旨相達候
事

明治九年七月十八日
太政大臣三條実美

東京大學

東京大学総合図書館

本年第百拾五号布告各上等裁判所分轄中

愛知裁判所ハ　名古屋裁判所ノ誤

明治九年九月十四日

史官

東京大學

東京大学総合図書館

第百三十六号

熊本縣下賊徒暴動ニ付追討方
御出兵及處分候旨布告及事

明治九年十月廿八日

太政大臣三條実美

東京大學
東京大学総合図書館

第百号

使府縣

本月廿四日午後十二時過熊本縣士族凡百名許暴動鎮臺兵営及縣令参事等ノ宅ヲ襲撃シ陸軍將校縣令参事以下若干名死傷アリ兵営数ケ所焼亡ス縣廳ハ別条ナシ賊徒三十二人打取リ十二名捕縛外十七名自盡其餘ハ脱走ス而今追捕中ノ旨同縣ヨリ電報有之候条各地方ニ於テモ取締等尚又注意可致此旨相達候事

明治九年十月廿八日

太政大臣三條実美

東京大學
東京大學
東京大学総合図書館

第百弐号

府県

本月廿四日午後第十一時過熊本県下賊徒暴動ニ及ヒ官員ノ内死傷ニ至ル者有之右賊徒自盡及捕獲ノ外其餘脱走之輩モ不少即今専ラ追捕中ニ趣追々同県ヨリ電報有之就テハ右賊徒萬一他管下ヘ潜匿可致哉モ難計ニ付尚又厳密捜索ヲ遂ケ捕縛可致此旨相達候事

明治九年十月三十日

太政大臣三条実美

第百三号

使府縣

本月廿八日山口縣士族前原一誠横山俊彦奥平謙輔等百餘名徒黨ヲ集合候ニ付縣廳ヨリ解散ヲ命シ候處遂ニ兵器ヲ携ヘ公金ヲ奪掠シ石州地方ニ向ケ脱走候旨同縣ヨリ電報有之厳重追捕可致旨其筋ヘ相達候ニ付而ハ自然右賊徒各地方ヘ散乱或ハ潜匿候哉モ難計ニ付厳密捜索ヲ遂ケ捕縛可致此旨相達候事

明治九年十月三十日

太政大臣三條実美

第百四号

諸省使廳府縣

山口縣ヘ左ノ通相達候条為心得此旨相達候事

明治九年十月三十日

太政大臣三條実美

山口縣

其縣士族従四位前原一誠徒黨ヲ集合シ悖乱ノ挙動ニ及ヒ候ニ付位記ヲ被褫候条此旨相達候事

明治九年十月三十日

東京大学総合図書館

第百五号

使府県

銃砲弾薬之儀海陸軍省及鎮台用向ヲ除クノ外平常免許之者タリトモ当分之内売買運送厳禁候条此旨至急ヘ可相達事

明治九年十月三十日　太政大臣三條実美

第百六号

使府縣

熊本縣下賊徒追討候御出囚鎮臺兵ヲ以テ追討シ未賊徒捕縛ニ就キ或ハ自盡因縣下已ニ鎮靜ニ及ヒ且秋月ノ兇徒モ鎮壓候旨因鎮臺ヨリ報知有之候趣陸軍卿ヨリ上申相成候条為心得此旨相達候事

明治九年十月三十日　太政大臣三條實美

東京大學圖書
東京大学総合図書館

第百七号

院省使庁府県

今般熊本県下賊徒追討ニ付テハ軍事ニ関係ノ件諸官庁ヨリ新聞紙ヘ掲載為致候儀一切禁止候条此旨相達候事

明治九年十月三十一日

太政大臣三條実美

電報配達之儀是迄電線架設有之諸廳ヘハ都テ築地日本橋ヨリ線路ヲ以直ニ送信致来候處信書配達ノ都合モ有之候ニ付今後ハ何人ヨリ何省何官宛ノ信書ニテモ今度改正勤務之義ニ付テハ信報ハ都テ其関係長官名宛ヲ以テ電信寮内電信局ヨリ配達為致候間為心得此段及御通知候也

明治九年十月三十日

伊藤工部卿

文部大輔代理

九鬼文部大丞殿

東京大學

第百八号　使府縣

本年十月第百二三号ヲ以テ相達置候儀モ有之候處本月四日仝五日島根縣下出雲國宇竜(ウリウ)港ニ於テ賊魁前原一誠横山俊彦白井林藏奥平謙輔佐瀬一正山田穎太郎馬来杢捕縛相成候条為心得此旨相達候事

但残徒散乱或ハ潜匿候モ難測候ニ付猶注意可致事

明治九年十一月十一日

太政大臣三條実美

東京大學

東京大学総合図書館

電信配達之儀ニ付去三十日及御掛合置候處
来十二日ヨリ從前之通リ取扱候條此旨及御通
知候也

九年十二月十日　伊藤工部卿
代理
九鬼文部大丞殿

第壱号

院省使廳

来九日海軍始ニ付正院休暇ニ候條此旨相
達候事

但雨天ニ候ハヽ御延引ニ付休暇無之事

明治十年一月四日　太政大臣三條実美

東京大學

東京大学総合図書館

第四号

教部省被廃候事

但従前ノ事務ハ内務省ヘ被付候事

東京警視庁被廃候事

但従前ノ事務ハ内務省ヘ被付候事

右布告候事

明治十年一月十一日

太政大臣三條実美

東京大学図書

東京大学総合図書館

文部省

其省中督學局被廢候条此旨相達候事

明治十年一月十二日

太政大臣三條実美

東京大学総合図書館

第九号

大和國並ニ京都、
行幸ニ付明廿二日東京
御発輦之處今暁来烈風ニ付航海御難渋之
趣海軍省ヨリ上申相成
御発輦御延引被　仰出候条此旨布告候事
但　御発輦日限之儀ハ追テ布告候事

第十号

大和國及ヒ京都、
行幸来ル廿四日東京
御発輦被　仰出候条此旨布告候事

東京大學

東京大学総合図書館

明治十年一月廿三日

太政大臣三條実美

一月廿六日

文部大書記官従五位九鬼隆一

兼任太政官大書記官

一月十九日分

陸軍々醫兼三等侍醫池田謙斎

文部省御用掛兼勤被　仰付候事

内務省大書記官長與専斎

仝上

内務大書記官
兼文部省御用掛
長與専齋

東京醫学校ヘ出頭被　仰付候事

東京大学
東京大学総合図書館

但學校長ノ心得ヲ以勤務可致事

直轄學校
東京博物館
同　書籍館

當省本年七月以降一周歳經費金百弐拾萬圓ト可相定ニ付別紙之通及達置候條此旨為心得相達候事

明治十年一月廿五日　文部大輔田中不二麿

文部省

一金百弐拾萬圓

其省本年七月ヨリ十一年六月マテ一周歳経費金右之通可相定候条事務施行之目途確定可致此旨相達候事

明治十年一月十日　太政大臣三條実美

東京大学総合図書館

第三号

院省使府縣

各省中諸寮被廃候事

但従前諸寮事務ハ各省長官ノ見込ヲ以テ適宜ニ局ヲ設ケ可届出事

各省中大少丞以下被廃候事

諸省書記官属官等給左ノ通被定候事

大書記官	四等	月俸弐百円
権大書記官	五等	仝　百五拾円
小書記官	六等	仝　百円
権小書記官	七等	仝　八拾円

東京大學

東京大学総合図書館

等級		月俸
一等属	八等	月俸六拾円
二等属	九等	仝 五拾円
三等属	十等	仝 四拾五円
四等属	十一等	仝 四拾円
五等属	十二等	仝 三拾五円
六等属	十三等	仝 三拾円
七等属	十四等	仝 弐拾五円
八等属	十五等	仝 弐拾円
九等属	十六等	仝 拾五円
十等属	十七等	仝 拾弐円

以上奏任

以上判任

等級		月俸
等外	一等	月俸拾円
等外	二等	仝 八円
等外	三等	仝 七円
等外	四等	仝 六円

勅任官以上禄税自今総テ弐割ヲ被徴候事

右相達候事

明治十年一月十一日　太政大臣三條実美

東京大学総合図書館

第十号

院省使府県

正院ノ称ヲ廃シ正権大少史主事法制官以下
并出仕御用掛等総テ被廃候事
但大舎人及ヒ等外吏ハ従前之通被置大舎人
等級十六等ニ被定候事

太政官中書記官属官等給左之通被定候事

官	等	月俸
大書記官	四等	月俸弐百円
権大書記官	五等	仝 百五拾円
少書記官	六等	仝 百円
権少書記官	七等	仝 八拾円

以上奏任官

一等屬　八等　月俸六拾円
二等屬　九等　仝　五拾円
三等屬　十等　仝　四拾五円
四等屬　十一等　仝　四拾円
五等屬　十二等　仝　三拾五円
六等屬　十三等　仝　三拾円
七等屬　十四等　仝　弐拾五円
八等屬　十五等　仝　弐拾円
九等屬　十六等　仝　拾五円
十等屬　十七等　仝　拾弐円
以上判任

太政官中調査局被置候事

賞勲局中一級秘書以下被廢候事

修史局被廢候事

右相達候事

明治十年一月十八日　太政大臣三條実美

第八号

院省使東京府

来ル廿二日大和國及ヒ京都ヘ
行幸御発輦ニ付當日休暇ニ候条此旨相達
候事

明治十年一月十七日

太政大臣三條実美

東京大学総合図書館

第十三号

院省使東京府

明廿二日大和國及ヒ京都、
行幸御発輦御延引ニ付同日休暇無之候条
此旨相達候事

明治十年一月廿一日　太政大臣三條実美

第拾四號

院省使東京府

來ル廿四日大和國及京都、
行幸御發輦ニ付當日休暇候條此旨布
達候事

明治十年一月廿三日

太政大臣三條實美

東京大學

東京大学総合図書館

第二十六号

使府縣

銃砲彈薬之儀陸海軍省及鎮臺用向ヲ除ク
外平常免許之者タリトモ當分之内賣買運送
嚴禁候条此旨至急可相達事

明治十年二月十三日　右大臣岩倉具視

東京大學
東京大学総合図書館

官院省使東京府

京都　御駐輦被　仰出本日布告相成候
旨電報有之候条此旨為心得相達候事

明治十年二月十九日

右大臣岩倉具視

官院省使東京府

鹿児島縣下暴徒兵器ヲ携ヘ熊本縣下ヘ乱入
反跡顕然ニ付征討被　仰出有栖川二品親王ヘ
征討総督被　仰付候旨本日行在所ヨリ電報
有之候条此旨為心得相達候事

但本文暴徒各地方ヘ逋逃之儀モ難計ニ付管
内取締之儀同所ニ於テ使府縣ヘ被相達候
旨モ相達候事

明治十年二月十九日　右大臣岩倉具視

東京大学総合図書館

官院省使東京府

征討総督有栖川二品親王今廿四日進発之旨
行在所ヨリ電報有之候条此旨為心得相達
候事

明治十年二月廿四日　右大臣岩倉具視

第二十九号　　使府県

明治十年二月第二十六号達中鎮台ノ下ニ並警視官ノ四字追加候条此旨相達候事

明治十年二月廿四日　右大臣岩倉具視

東京大学総合図書館

官院省使東京府

陸軍大将正三位西郷隆盛陸軍少将正五位桐野利秋陸軍少将正五位篠原国幹官位褫奪被
仰出タル旨行在所ヨリ電報有之候条此旨為心得相達候事

明治十年二月廿六日

右大臣 岩倉具視

東京大学総合図書館

官院省使東京府

臨時海軍事務局ヲ神戸ニ置征討ニ事務取扱致シ居候行在所ヨリ電報有之候條此旨為心得相達候事

明治十年二月廿六日

右大臣岩倉具視

東京大学

東京大学総合図書館

官院省使府縣　西國諸縣ヲ除ク

征討総督二品親王有栖川熾仁ハ九州地方ノ國事犯賊徒處刑之儀御委任被　仰付候段京都ヨリ通知有之候條此旨爲心得相達候事

明治十年四月八日

右大臣岩倉具視

東京大學

東京大学総合図書館

乾勧第三百五号

当省中佛國博覧会事務局設置致候ニ付事務局之儀ハ上野公園内ヘ設置致候条右ニ関スル事件ハ総テ当局宛直ニ同局ヘ御差遣有之度此段及御通知候也

明治十年四月十日

内務卿大久保利通代理
内務少輔前島密

院省使局宛

東京大学図書
東京大学総合図書館

行在所第四号

来ル十七日西京御発輦還幸被仰出候条
此旨布告候事
但神戸横濱ヨリ御航海ノ筈ニ候事

明治十年五月三日

太政大臣三條実美

東京大學
東京大学総合図書館

行在所布告第五号

来十七日還幸被　仰出候処変ニ差合有之候

延引被　仰出候条此旨布告候事

明治十年五月十二日

太政大臣三條実美

行在所第六号

内閣顧問従三位勲一等木戸孝允今日午前六時三十分薨去候条此旨布告候事

明治十年五月廿六日　太政大臣三條実美

東京大学

東京大学総合図書館

第四十四号

使府縣

明治十年二月第弐拾六号ノ同第弐拾九号ヲ以テ
銃砲弾薬売買運送之儀相達置候処右達
中并監視官ノ上ニ開拓使ノ三字追加候条此
旨相達候事

明治十年六月十二日　右大臣岩倉具視

行在所布告第七号

鹿児島賊徒大分県下ヘ散乱シ追々四国地方ヘ
逋走可致哉ノ聞ヘモ有之ニ付テハ伊予土佐
海岸ハ豊後日向接近ノ地方ニ付今般別テ
右沿海諸港出入ノ諸船舶陸海軍厳重致
取締候条此旨布告候事

但右取締ニ付出入ノ船舶疑敷ト認ル時ハ軍
艦ヨリ滞止ヲ命ス若シ之ヲ拒ム時ハ臨機厳重
ノ処分ニ及ブベキ事

明治十年六月七日　太政大臣三條実美

第五十三号

親王署名正式宣旨辞令奏状等ハ所称号ヲ省キ官品親王名ト被定候ニ付来翰之趣為心得相達候事

明治十年七月十三日　右大臣岩倉具視

東京大学総合図書館

行在所布告第八号

来ル二十八日御発輦海路
還幸被仰出候条此旨布告候事

明治十年七月廿五日

太政大臣三條実美

東京大學

官院省使東京府

来ル三十日　還幸ニ付休暇候條此旨相達
候事

十年七月廿八日

右大臣岩倉具視

東京大學

東京大学総合図書館

官院省使府縣

来ル十五日ヨリ太政官ヲ赤坂假皇居内ヘ被
移候条此旨相達候事

明治十年八月十二日　太政大臣三條実美

東京大學

東京大学総合図書館

別紙之通太政官ヨリ御達有之候条為御心得
及御通達候也
但刊行之分ハ廻付ニ不及之處例数局ニ合並
於各省ニテ僅ニ太政官ヨリ兼職候ニ付諸官方
回付取調進呈差進可申候此段申添候也

明治十年九月三日　文部省
宿直

東京大学医学部
御中

東京大學

二品親子内親王薨去ニ付三日ヨリ當太政官ヘ
臨御不被為在候ニ付テハ明四日ハ大臣参議以下
参官無之候ニ付其庁ニ於テモ同様之義ト可被
相心得候也

明治十年九月三日　太政大臣三條実美

文部大輔田中不二麿殿

第六十三号

二品親子内親王本日薨去被遊候条此旨布

告候事

但三日ノ間歌舞音曲等令停止候条東京

府下ハ本日ヨリ其他ノ地方ハ到着ノ日ヨリ

可算事

明治十年九月二日　太政大臣三條実美

東京大学総合図書館

第六拾五号
故二品親子内親王来ル十三日芝増上寺ヘ於葬
送相成候条此旨布告候事
明治十年九月十日　太政大臣三條実美

明十五日禁苑拝観定日之処同日旧別働第
三旅団及開拓使屯田兵備兵整列為
天覧同所へ　行幸ニ付拝観差止候旨去ル十二日
及御通知置候処右変更同日
行幸御延引被　仰出候旨拝観差許候條
右参照各官員ヘ御通達有之度候也

十年九月十四日

宮内省

院省使局府庁

第六拾七号

今廿三日正午十二時権典侍柳原愛子分娩

皇子御降誕被遊候条此旨布告候事

明治十年九月廿三日　太政大臣三條実美

東京大学総合図書館

第六十八号

官院省使府県

今廿三日正午十二時
皇子御降誕被遊候ニ付在京之奏任官以上
並有位華族本日ヨリ三日之間宮内省ヘ参
賀可致此旨相達候事
但通常礼服着用之事

明治十年九月廿三日　太政大臣三條実美

第六拾九号

皇子御名敬仁ト被命建ノ御殿ハ御住居被為在候条建宮ト可奉称此旨布告候事

明治十年九月廿九日

太政大臣三條実美

東京大学総合図書館